



地域学校協働活動と  
キャリア教育の広報紙

てなむ

学校向け

- ◆ こばやしスクールサポートボランティアセンター 【小林市社会教育課】 Tel.22-7912
- ◆ 小林市キャリア教育支援センター 【小林商工会議所】 Tel.23-4121

警察庁によると、昨年夏期(7~8月)の全国の水難事故は ◆ 発生件数453件 ◆ 水難者 568人。うち死者・行方不明者236人 ◆ このうち中学生以下は、発生件数49件。水難者106人。うち死者・行方不明者16人(数値は速報値)となっています。

長い夏休み、保護者や先生方の一番の願いは、子どもたちの安全な生活。休み前、「命を守る」さまざまな指導が各学校で行われたことと思います。その中のひとつを紹介します。

南小 海上安全教室(着衣水泳) 6年生



宮崎海上保安部(日南市油津)の6名の職員から、「浮く」技術を学びました。

全員でプールを回って流れを作り、急に反対向きになると体が激しく押し流され、子どもたちは流れの強さにびっくりしていました。

浮く練習では、何も持たずに浮いた後、ボールやペットボトル、空気の入ったビニール袋などを使ってみました。ライフジャケットの使い方や、溺れている人へはロープや浮力のあるものを投げるなど、対処法の説明もあり、子どもたちは楽しみながら命を守る方法を学んでいました。

※ 海上安全教室を実施する場合は、宮崎海上保安部へ直接依頼してください。

須木中 浜ノ瀬ダム見学 1年生



説明は宇都さん(西諸土地改良区)

学校から北西に車で25分ほどの所にある灌漑目的のダムです。管理事務所でダムの種類と役割(防災や水利、発電など)について学んだ後、ダム内部の階段を57m下りて最下部へ。気温14度のひんやりした空気の中で、ダムの管理や点検についての話を聞きました。地震計も設置しており、震度4以上の地震が起きると、深夜でも駆けつけ、安全確認をするという話に、生徒たちはびっくりしていました。

この後、下流の発電施設も見学しました。

三松小 史跡めぐり 6年生



案内はガイドボランティア協会の皆さん

関ヶ原の戦いの供養碑や飯田家五輪塔、開拓記念碑のある田中の鼻など、校区内の5か所の史跡を見て回りました。

関ヶ原の戦いで西軍について佐土原藩はとりつぶしになり、一部の藩士と家族が堤地区に移住しました。農民になっても武士としての誇りを忘れなかった人々の生き方が、後の「三松魂」に繋がっているとされています。

見学の後は、教室で、ガイドボランティアの皆さんが作った解説動画を視聴し、さらに詳しく学びました。

須木小 灯ろうづくり



須木小には年に数回、「みんなで〇〇をする日」があり、児童が交替で企画・運営をします。今回は3・4年生が担当して灯ろうを作りました。

1~6年生が4つのグループに分かれて作業開始。教室には題材選びに困らないよう3・4年生が準備した「絵を描くヒント」が掲示され、子どもたちは、それらを参考に須木の特色や夏に関する絵を思い思いに描いていました。

最後は、全員が集まって発表会。3・4年生が進行し、絵を披露し、感想を述べました。

この後、灯ろうの型に貼り付け、須木の花火大会で、会場までの道を明るく照らします。



幸ヶ丘小 魚のつかみ取り大会



裏に続きます。



この日は日曜参観。午前中は授業、午後からPTA主催で行われました。プールにはニジマス60匹とコイが数匹。子どもたちは歓声と水しぶきを上げて魚を追いかけていました。魚のつかみ取り大会は、毎年、夏休み前に行われます。

### 小林小 租税教室

6年生



説明役の大人と共に、チームのテーマに沿って施設を配置しました。



小林税務署と小林法人会青年部・女性部の皆さんによる授業です。前半は税のない社会を描いたDVDの視聴・税金の種類と役割・税金クイズ。後半は、地図の上に建物のシールを貼る「まちづくりワークショップ」。チームごとにテーマを決め、600億ZENの予算で、税金の有効な使い方を考え、施設を整備しました。

授業の終わりには、「みんなが楽しく暮らしやすい街」「にぎやかな町」「観光地になる町」「高齢者や子どもに優しい町」など、子どもたちの願いが込められた街がたくさん出来上がりました。

### 永久津小 九州ゲンゼ工場見学

3年生



3年生6名の社会科見学です。説明は総務課の富永さん。工場の成立ちやストックの作り方を学んだ後、製造工程に沿って工場内を見て回りました。子どもたちは、編んだり縫い合わせたり包装したりするさまざまな機械に、「すごい!」や「速い!」を連発。驚いたり感心したりしながら、説明を聞いていました。

【見学後の質問の時間より】 ◆ ゲンゼでストックを作っているのは小林の工場だけ。1日12万足作っています。 ◆ 働いているのは約300人。ベトナムやインドネシアの技能実習生もいます。

◆ 機械の数は660台。その内、編立の機械が500台。柄が編める機械は毎年更新しています。

◆ 染色には、たくさんのきれいな水が必要です。それで、水がきれいな小林に工場を作りました。

### 紙屋小 城攻め踊りの練習

4~6年生



指導は紙屋城攻め踊り保存会(手塚会長)のメンバー5名。「30年前に私も教わりました」という方もいて、伝統の重さを改めて感じました。初参加の4年生は太鼓の付け方とバチの持ち方から始め、徐々に、手の動きや足の運びを学びました。

「時間をたくさんいただいたので今日で仕上げます」と手塚さん。運動会での披露に向けて、子どもたちは熱心に取り組んでいました。

西諸にはさまざまな郷土芸能が伝わっていますが後継者の育成が難しいという声をよく聞きます。子どもたちのはつらつとした動きを目で追いながら、伝統を伝えていく学校の役割について考えていました。

### 西小林中「小林未来予想図」スタートアップ会議



3年生

3年生は4つのチームで探究活動を行っています。今回、市役所の9つの課から12名の職員を迎え、進捗状況と今後の進め方について発表しました。

その後は意見交換会。小林市の課題と解決策のアイデアについてグループで話し合いました。職員からは施策の説明や質問への回答もあり、生徒たちは今後の活動に役立つアイデアをたくさんもらったようでした。今後、最終の発表会に向けて、さらに探究活動を続けます。

【4つの探求チーム】 ◆ 健幸のまちづくり推進 ◆ 市PR・観光・経済の活性化推進 ◆ 農畜産業活性化の推進 ◆ 子育て支援・教育・福祉の推進

【出席】企画政策課・地方創生課・商工観光課・農業振興課・畜産課・福祉課・こども課・学校教育課・長寿介護課の皆さん

こすもす科のふるさと学習では、学年が上がるにつれて、調べたことの発表から課題解決の提言に向かう流れになっています。その次の段階はアイデアを実現する取組でしょうか?

修学旅行での宣伝活動や地域の行事への参画など、子どもたちの活動に注目しています。